

# 鹽竈十福

発行所 〒985-8510 塩竈市一森山一番一号  
 志波彦神社  
 鹽竈神社 社務所  
 電話 〇二二三六七-一六一(代)  
 FAX 〇二二三六五-五五三〇  
<http://www.shiogamajinja.jp/>



神龍社前の染井吉野



江戸時代の鹽竈神社社殿については、慶長十二年（一六〇七）に仙台藩祖伊達政宗公による本殿造営に始まり、二代・忠宗公により拜殿や長床などが随時造営と記録されているが、残念ながら詳細は不明である。図面記録があるのは三代・綱宗公が着手され四代・綱村公の寛文三年（一六六三）に完成した社殿からである。更に、綱村公は「鹽竈神社縁起」の作成を主導され三柱の御祭神を定めて、元禄八年（一六九五）にそれぞれが鎮座する三本殿の新築、また拜殿と門・廻廊などの工事に取り掛かり、五代・吉村公の宝永元年（一七〇四）に竣工したが、現在の社殿である。

伊達政宗公を始めとする歴代藩主は、自ら大神主を務めて鹽竈大神を祀り、斯様に社殿や境内整備に努めて、鹽竈に特別の庇護を与え続けてこられた。神々の御嘉賞はもとより、その恩顧に対しての感謝は塩竈人の心にも生きている。

今年、仙台藩祖伊達政宗公生誕四百五十年。仙台市は、市役所本庁舎正面に「伊達政宗公 生誕四百五十年」を告知する看板を設置し、郷土が生んだ英雄を讃えることに努めている。ところが、その他にも多く企画されている記念行事のタイトルの中には、尊称の「公」の字が抜けているものがある。公の文字が抜け落ちれば、それは呼び捨てであり、見過ごすことが出来ぬ大事なのだ。それぞれが、政宗公への敬意を忘れず伊達家への報恩の心が伝承される企画であってほしい。

# 花まつり 四月二十三日



表坂の御神輿渡御

花まつりは、江戸中期安永年間に入り水害と日照りが続き作物が稔らず、氏が当社に祈ったところ、気候も順調で作物も良くなったので、報賽の意をこめて安永七年（一七七八）三月十日から氏子祭を行うこととなり、神輿を出して町内を御神幸したのが起源です。

もとは、「弥生祭」と呼ばれていましたが、明治五年の改暦後、四月二十五日に改められ、その頃は桜が満開の季節であることから「花まつり」と呼ばれるようになりました。祭典日はその後、昭和六十年に四月第四日曜日に改定され、

現在に至っています。御神輿は、轡づくりで重量が二百五十貫（ト）あり、前後八名都合十六名で担ぎます。担ぐのは、一週間前から禊を行って厳重に潔齋を重ねた氏子約百名で、担ぐ際には、鼻口を紙覆面でおおい、烏帽子白丁姿で御奉仕します。祭典前日、淨閑のうちに御神霊が奉遷された御神輿は、当日各御供の奉仕団体を伴い正午に表坂を出発し、市内各地を渡御され、午後八時過に還御されます。二百二段の表坂を上がる御神輿を是非お出迎え下さい。

## 鹽竈ザクラの日

五月十日

古来より著名な品種で当社の御社紋にも用いられる鹽竈ザクラは、当社境内のものが国の天然記念物に指定されています。

当社では五月十日を「鹽竈ザクラの日」と定め、桜の生育を祈る祈願祭を斎行いたします。

また、境内では桜の開花状況に合わせて週末と祝日にライトアップを行っております。灯りに照らされる夜桜をお楽しみ下さい。



鹽竈神社の鹽竈ザクラ

## 第十五回 鹽竈神社観桜茶会

五月三日

今年も茶道各流派合同による鹽竈神社観桜茶会が左記の要項で開催されます。

◆主催  
鹽竈神社観桜茶会  
実行委員会

◆日時  
五月三日（水・祝日）  
午前十時～午後三時半

◆お茶券  
二席一、二〇〇円（前売）  
市内茶舗のほか各参加流派



◆参加流派  
表千家・裏千家・大日本茶道学会・織田流・玉川遠州流・表千家宮城県青年部

◆お問合せ  
事務局・滝井園茶舗  
〇二二（三六二）三六一四

## しおがまさま 神々の花灯り

四月十四日・十五日

鹽竈市青年四団体連絡協議会主催による「神々の花灯り」が四月十四日（金）・十五日（土）の夜、境内で開催されます。午後六時半頃からローソクの灯りが、社殿を始め参道や夜桜を幻想的に照らします。舞殿では、古代笛・琴・琵琶・雅楽などが演奏されます。鹽竈の恒例イベントとなりました「神々の花灯り」。ぜひ御参拝いただき、幻想的な夜のしおがまさまをお楽しみ下さい。



雅楽の演奏

# 鍵宮司 神職身分特級に

神社本庁設立記念日の二月三日に合わせて、神社本庁定例表彰の発表があり、表彰規定第二条第二号により、当社

鍵宮司が表彰されることになり、二月七日に神社本庁に於いて、神職身分特級が授与されました。

又、三月十日付で、近藤欄宜が神職身分二級上に、前川権欄宜が神職身分二級に昇進しました。



## 御挨拶

志波彦神社  
鹽竈神社

宮司 鍵 三 夫

この度、図らずも神社本庁より神職身分特級の栄に浴しましたことは身に余る光栄であり、誠に恐懼感激の極みであります。これも偏に、大神様のご神慮はもとより、責任役員・総代を始め、神社関係者並びに氏子崇敬者皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝いたしております。

この上は、初心に立ち返り日々精進を重ね、大神様の御神威発揚と社頭の隆盛、斯界興隆のために微力を尽くして参る所存であります。今後とも、変わらぬご厚誼と共に一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 志波彦神社例祭



志波彦神社拝殿

去る三月二十九日、志波彦神社例祭が執り行われました。

宮司以下祭員並びに献幣使・

責任役員・総代を始め氏子崇敬者一同、また縁故深い仙台市宮城野区岩切の八坂神社よりも参列がありました。

そもそも志波彦神社は、宮城郡岩切村の冠川のほとりに鎮座され、「延喜式」神名帳に名神大社として挙げられる由緒と高い格式を有した古社です。

御祭神の志波彦大神は、国土開発・殖産興業の御神徳を

以って鹽竈大神の奥州平定に御助力された神であり、清和天皇の貞観元年（八五九）に従四位下の神階を献じられています。その後、京都より勸請された八坂神社と一つ所に並び祀られて明治を迎えました。

明治四年（一八七二）に国幣中社の社格に列せられましたが、社地社殿共に狭隘な状況を憂えた明治天皇の思召により、明治七年（一八七四）に鹽竈神社別宮に遷祀され、志波彦神社・鹽竈神社の合祀がなされました。

昭和十三年（一九三八）九月二十八日、淨園のなか新宮に遷座されました。

社殿は近代神社建築の粋を凝らしたもので、本殿・拝殿、何れも朱黒の極彩色漆塗りで、国費によって造営された最後の社殿としても知られています。昭和三十八年（一九六三）には塩竈市の有形文化財に指定されました。

平成二十七年には遷祀百四十年の佳節を寿ぎ、記念事業である御社殿修復工事が竣工しました。



志波彦神社本殿

# 第六十九回 奉献乾海苔品評会

去る一月十一日、当社を会場に第六十九回奉献乾海苔品評会が開催されました。

当社の産業振興大祭協賛会が主催する品評会は、乾海苔の生産技術の発展と生産意欲の向上を目的として開催されています。

六年前の東日本大震災により、海苔生産者は甚大な被害を被り、経営体数が六割、生産量は二割まで減少しましたが、再起を決めた生産者の熱意と努力により、昨漁期は震災前の六割まで回復しました。

本年は県内各地より百五点が出品され、いずれも色・艶・香りとともに優秀なものでした。当日は、御神前で感謝祭が執り行われ、続いて社務所大講堂にて表彰式、直会が行われました。

五日に実施された審査会の結果、優賞(宮城県知事賞)に手代木浩二殿、準優賞(塩竈市長賞)に星博殿のお二人以下、左記の方々が入賞されました。作品は当日祭務所にて展示され、多くの参拝者が見学していました。

## 入賞者氏名 (敬称略)

優賞(宮城県知事賞)

鳴瀬 手代木 浩二

準優賞(塩竈市長賞)

松ヶ浜湊浜地区

星 博

吉等賞(東松島市長賞ほか)

代ヶ崎浜地区 相澤 栄喜

塩竈市第一 伊藤 和光

鳴瀬 鹿野 拓洋

矢本 相澤 太

宮戸 門馬 隆

石巻湾 内海 広志

式等賞(全国漁業協同組合連合会賞ほか)

東宮浜地区 大石 颯

代ヶ崎浜地区 伊藤 政一

代ヶ崎浜地区 坂本 寿

松ヶ浜湊浜地区

星 兵喜

塩竈市第一 伊藤 幸則

宮戸 門馬 雅則

宮戸 門馬 将行

塩竈市浦戸 内海 修一

技術賞(東北海苔問屋協同組合理事長賞ほか)

東宮浜地区 我妻 貞俊

東宮浜地区 星 長一

東宮浜地区 名村 忠之

宮戸 門馬 康成

石巻湾 本田 巧

## 参等賞

(アイサン工業(株)賞ほか)

菖蒲田浜地区 星 美智也

代ヶ崎浜地区 齋藤 吉勝

代ヶ崎浜地区 相澤 良弘

代ヶ崎浜地区 赤間 竹晴

代ヶ崎浜地区 石森 喜一

花洲浜地区 伊藤 甚市

花洲浜地区 寺澤 春彦

花洲浜地区 寺澤 善二

塩竈市第一 佐藤 諭

矢本 津田 正次

矢本 三浦 一郎

塩竈市浦戸 阿部 義彦

石巻湾 阿部 宗

石巻湾 相沢 仁

四等賞

(株)サンエイ海苔賞ほか)

東宮浜地区 瀬戸 正一

代ヶ崎浜地区 片倉 順平

花洲浜地区 鈴木 享

松ヶ浜湊浜地区

大町 昭

矢本 阿部 雄美

矢本 櫻井 健太

矢本 相澤 裕太

宮戸 三浦 正洋

宮戸 石田 信英

宮戸 櫻井 庄松

宮戸 門馬 幹彦

奨励賞

菖蒲田浜地区 伊丹 幸一

ほか二十四名

## 産業功労賞

七ヶ浜

坂本 寿

ほか十二名

なおこの内、優賞・準優賞の乾海苔は例年、生産者の手により御皇室に献上されております。本年は二月九日に常

## 帆手祭斎行

去る三月十日、氏子三祭の一つであり、塩竈に春を告げる祭りとして知られる帆手祭が斎行されました。

帆手祭は、火伏せと景氣の回復を願い、江戸時代の天和二年(一六八二)に塩竈の氏子らによって始められたものと伝えられています。

陸宮邸・東宮御所・秋篠宮邸の各宮家、そして御所へ乾海苔を御献上。  
宮内庁庁舎では献上の際、掌典長殿に御挨拶の上、宮中三殿を拝する榮譽に与りました。

当日は午前十時に本殿祭が執り行われ、引き続き表坂上で発輿祭が執り行われました。

御神輿には総勢五百名ほどの御供が従い、時折雪がちらつく厳しい寒さの中、市内を渡御しました。午後七時には市民の皆様と女神輿の会朱雀連の万灯神輿、烏天狗の太鼓に迎えられ、表坂を還御されました。



鹽竈神社御神輿の渡御

# 節分祭追儺式

今年一年の厄災消除・家内安全を祈願する節分祭追儺式が、二月三日・五日の両日にわたり計三五一名の年男・年女の奉仕により斎行されました。

本年は特設舞台を鹽竈神社より志波彦神社前に変更設置。年男・年女が福豆を撒くと、集まった人々は御利益のこもった豆を戴いてました。

また、御協賛頂いた約八百点の福景品が用意され、豆と一緒に撒かれた当りくじを手に、交換所には長い行列ができました。



節分祭斎行に当りましては、多くの方々の御協力をいただきました。左記に世話人以下、ご来賓、年男・年女代表および福景品等協賛者の御芳名を紹介致します。

### ◆世話人

会長  
副会長

(敬称略)

- 佐藤 武志
- 佐藤 一臣
- 小島 勇馬
- 郷家 照夫
- 松本 喜八郎
- 佐藤 仁一郎
- 菅原 周二
- 櫻井 ふみ子
- 鈴木 亨彦
- 大場 喜藏
- 大友 義雄
- 高瀬 聡

### ◆来賓

二月三日  
塩釜警察署長 横山 裕

二月五日  
伊達家十八代当主

塩竈市長 伊達 泰宗  
塩釜警察署副署長 佐藤 昭

永澤 裕之

### ◆年男・年女代表

二月三日  
鈴木 貴資 ・ 伊藤 睦

二月五日  
鈴木 秀司 ・ 古積亜矢子

### ◆福景品等協賛者(順不同)

(株)菅原園茶舗・塩釜市商業協同組合・福寿司・ライフ&フアッションたかはし・郷家第三歯科医院・漢方の塩釜芍薬堂・ホテルニュー小松好風亭・稲庭うどん瀧さわ家・翠松亭・鎌田稔・救心製薬(株)仙台営業所・クラシエ薬品(株)・大和生物研究所・日本クリニック(株)仙台営業所・ムサシノ製薬(株)バイタルネット・和



風スナックつた・大泉光浩・(株)白寿殿・(株)白寿殿 大友義雄・松和産業(株)・塩釜地方卸売市場・(株)ごんきや・(尙)今野商店・(尙)たかせとし美容室・(尙)宮本商店・宮本産業(株)・第一生命保険(株)・権現茶屋・大場酒店・春日屋商店・(尙)松野・水野水産(株)・コカ・コーライーストジャパン(株)・勝山水産(株)・(株)佐々勘商店・(株)松島蒲鉾本舗・(株)カネマス伊藤商店・顔晴れ塩釜・阿部平蒲鉾店・菓庄榮太楼・(株)東日本ソルト仙台営業所・東陽防災設備(株)・塩釜カス(株)・シヨップサトー・(株)佐浦・(合)仙台屋製麺所・北浜フードセンター・(株)小島蒲鉾店・進藤正毅・えびすや釣具店・(株)阿部善商店・渡辺米穀店・丹六園・(株)ヨークベニマル塩釜店・大黒寿司・(尙)増友商店・蜂屋食品(株)・(株)八百大・仙台味噌醤油(株)・(株)直江商店・(株)丸勝会館・阿部勘酒店・キクニ(株)・和食の小島・(尙)鈴忠・(株)でん六・(株)小西美術工藝社・(株)松田製粉・日本住宅(株)・いな長・マルマ佐々木水産(株)・(株)一ノ蔵・(株)阿部電工・すし哲・日野不動産設計事務所・武田の笹かまぼこ・宮城県美容業生活衛生協同組合塩釜支部

## 敬神婦人講だより

### 国旗小旗製作

昨年十二月の例会では恒例の国旗小旗製作を行いました。参加者は約七十名、二千五百本の国旗小旗が完成し、一般財団法人日本文化興隆財団に送られました。



国旗小旗の製作

### 平成二十九年新年会

去る一月二十五日、講員百六十名参加のもと平成二十九年敬神婦人講新年会が開催されました。

宮司・講長挨拶に続き、「一月一日」を合唱、詩吟・詞舞のあと、乾杯、祝宴となりました。

清興として、常日頃鍛えた自慢の踊りや歌が各地区講員有志により披露されるなか、飛入りの講員による一芸もあり、大いに盛り上がり閉会となりました。

# 鹽竈講社だより

## 飯坂千人講社祭

去る一月十日、鹽竈神社左右宮拜殿において、飯坂千人講大祭が盛大に斎行されました。

祭典に続き、永年にわたり継続された講員の皆様に表彰状・記念品が贈呈されました。ここに御芳名を紹介致します。

平成二十九年

継続講員表彰者(敬称略)

### ◇七十年表彰

篠木 藤彦・佐藤 貴美子

小野寺 賢一

### ◇六十年表彰

小野寺 敏・齋藤 清



鹽竈神楽

### ◇五十年表彰

安藤 直光

### ◇四十年表彰

松崎建設 酒井 千枝子

梅津 トミ子・堀江 セイ

芳賀 利男・角田 広吉

### ◇三十年表彰

木村 喜一郎・橋本 誓子

紺野 毅・櫻井 健造

菅野 淳一

### ◇二十年表彰

山川 美恵子・氏家 勉

今野 政子・伊藤 和美

村上 正次・日下部 久雄

### 講社祭のご案内

・仙台千人講大祭 四月十六日

・金石講社祭 四月二十三日

・新潟亀田講社祭 五月二十一日

・塩竈千人講大祭 六月二十五日

・講社大祭 十月七日〜九日

各講員の皆様の御参拝をお待ちしております。

## 「日本遺産」案内看板

### 境内に設置

「しおがまさま」一六七号にて御紹介いたしました通り、昨年、「鹽竈神社」、「鹽竈神社の帆手祭・花祭」、「歴代藩主奉納太刀」などが日本遺産の構成文化財に認定されました。このほど、これらの文化財の顕彰のため、表坂上、東神門前、博物館前の境内三か所ならびに曲木島橋入口に案内看板が設置されました。同看板では、スマートフォンを利

## 博物館だより

### 新春特別展終了報告

一月一日より二十二日まで「新春刀剣展」を開催。会期中は約三千六百名の皆様にご来館いただきました。

本展示では、仙台藩のお抱え刀工の作品を展示し、郷土の刀工達の足跡を紹介しました。会期中は、宮城県美術刀剣保存協会の会員有志による展示解説が行われました。実際の刀剣外装を用いた丁寧な解説で、好評を得たようです。

用して六ヶ国語による解説が閲覧可能となる予定です。



博物館前の案内看板

また、一月二十一日には同主催の刀剣鑑賞会が社務所大講堂にて開催されました。

### 国際博物館の日

来る五月十八日(木)は ICOM (国際博物館会議) が定める「国際博物館の日」です。

社会における博物館が果たす役割に対する公衆の認識を高めることを目的とするもので、当館では当日の入館料を無料といたします。

御参拝の折には、ぜひお立ち寄り下さい。

## 「国旗のある自由画コンクール」 入選作品展

一般社団法人国旗協会主催による「国旗のある自由画コンクール」の入選作品展が四月十八日(火)から五月十六日(火)まで神社絵馬殿にて開催されます。

このコンクールは「日の丸を高く掲げて国づくり運動」の一環として四歳から小学六年生までの全国児童を対象に、国旗の描かれている自由画作品を募集しているものです。入選作品は神宮をはじめ、全国の主な神社で展示されます。

本年も多数の応募作品の中から入選作品が選ばれ、宮城県からは、左記の方々が受賞しました。

金賞 本田 万丈 (小学三年)

銀賞 後藤 桜子 (幼稚園)

銅賞 八木 ひより (小学五年)

努力賞 佐々木 脩 (小学二年)

### 参拝記録

昨年十二月から本年二月にかけて、当社を正式参拝された方々を左記に御紹介いたします。  
(敬称略)

平成二十八年

十二月

六日 石鎚神社「豊友会」二十五名

平成二十九年

一月

三日 参議院議員(自民党) 愛知治郎氏  
以下愛知会三十名

六日

塩釜ロータリークラブ

七日

岩沼市・竹駒神社 千葉博男宮司  
陸上自衛隊多賀城駐屯地  
第二十二普通連隊長

十日

兼多賀城駐屯地司令 二瓶恵司一等陸佐  
以下隊員十二名

十七日

仙台市・宮城縣護國神社 田中光彦宮司

十九日

愛知県神社庁西尾幡豆支部 一班 四十二名

二十日

愛知県神社庁西尾幡豆支部 二班 四十二名

二十四日

宮城県神道青年協議会 「大寒禊研修会」参加者 十八名

二月

責任役員・総代合同会

二十七日

茨城県多賀支部神道青年会 六名

### 鎮守の森が「ふるさと文化財の森」に

国宝や重要文化財などの文化財建造物を修理し、後世に伝えていくためには、木材や檜皮(ひわだ)・茅・漆などの資材の確保と、これに関する技能者を育成することが必要です。このため、文化庁では、文化財建造物の修理に必要な資材の供給及び研修林の育成また、修理資材を通じて文化財保護への理解を深めることを目的として「ふるさと文化財の森」を設定しています。このほど、境内林約三〇・八ヘクタールのうち約二二・



設定書の交付式

三ヘクタールが檜皮の供給林として「ふるさと文化財の森」に設定され、去る三月十四日、文化庁において挙行された交付式で、宮田亮平文化庁長官より当社宮司に設定書が交付されました。今回は、全国で三ヶ所が新たに加わり、合計七十一ヶ所となりました。宮城県内での設定は、「上品山茅場(平成二十二年設定)」に続いて二ヶ所目で、檜皮の供給林としては国内最北に位置します。

檜皮は、志波彦神社や鹽竈神社の本殿をはじめ、全国の社寺を中心とする建築に用いられてきた代表的な屋根葺き材料です。檜の立木から採取した皮を数十枚重ねて葺くことにより、優美で美しい曲線の屋根をかたちづくります。当社では約百七十本の檜胸高直径五十七センチ以上)を有し、平成十九年以降、当社境内林から採取された檜皮は、鹽竈神社本殿のほか、愛知県岡崎市の重要文化財六所神社の屋根葺き替え材として使用されてきました。

### 養成所通信

#### 合同実習に参加

一月二十四日から二十六日まで、本社本庁と明治神宮会館において平成二十八年度神職養成機関普通課程合同実習Ⅱが実施され、当養成所より一年生一名が参加しました。本実習は、各養成機関生徒二十三名が一同に会し、相互に研鑽を深め神社界で奉仕する者としての連帯感の醸成を図るためのものです。昨年が続いての合同実習となり、生徒にとって多々学ぶことがあったようです。

#### 入所試験実施

三月十八日に神職養成所入所試験が実施され、五名が合格となりました。作文・国語・社会の試験と面接が行われ、それぞれ緊張した面持ちで臨んでいました。

四月七日には入所式が執り行われ、二年間の養成所生活が始まり、祭式・雅楽の集中講義をはじめ神職となるべく実習に励むこととなります。また新二年生は後輩を迎えて、自覚を新たに実習に励むことでしょう。

# 国家安泰 五穀豊穣 家内安全

祭事暦 (四月から六月まで)

毎月

一日 朔 日 祭

六日 曲木神社月次祭

十日 御釜神社月次祭

二十九日 鹽竈神社月次祭

四月

二十三日 鹽竈神社花まつり

二十九日 昭 和 祭

五月

十日 鹽竈ザクラの日祈願祭

十三日 御神田御田植祭

十四日 氏子崇敬会春季大祭

六月

三十日 夏越 大祓式

# 安産祈願 海上安全 大漁満足

ご結婚  
おめでどう  
ごさいます

二月

仙台市 三浦 晃

平塚 楼子

登米市 後藤 泰

大崎市 入野田加代子

多賀城市 萱場 開

仙台市 安藤 めぐみ

長崎県 高松 亮

石巻市 高力 香澄

(以上四組・敬称略)

## 授与品案内

しあわせ運ぶ

「御守神殿」

この度、手の平サイズの  
の小型白木神殿を奉製し  
ました。

扉の中に御両社のお札  
をお祀りしております。

神殿が倒れにくくなる特  
殊シート付です。

仕事場・勉強部屋や愛  
車等に奉斎下さい。初穂  
料は一五〇〇円。四月一  
日より授与を開始します。

感謝と祈りを捧げ、御  
加護を頂きましょう。

## 文芸欄

貝塚の一つがひかる春の雷  
朴の葉を一枚噛んで狸鼠  
雪解の藪の中より音すなり  
流れ良き雪解にまろき石光る  
浅春の風が巻きつく鰻塚  
如月の群青の空軍馬の碑  
春霜やひびの入りし茄玉子  
海へ向く水仙はみな鎮魂花  
教養の差つくしんぼの高さ程  
二ン月やうすもいろの猫の鼻

佐藤 みね  
渡辺 智賀  
辻田 よし子  
神野 礼モン  
太田 サチコ  
佐々木 和子  
横田 みち子  
大友 セツノ  
上田 由美子  
山田 桃晃

## 銅板奉納者芳名

昨年十二月より本年二月に  
かけて多くの方々より銅板の  
奉納をいただきました。

(敬称略)

十二月

石川県 高島 康弘  
ほか八六名

一月

山梨県 辻島 三男  
ほか一六四名

二月

愛媛県 豊嶋 伸吾  
ほか一〇七名

## 人事異動

昇進 (四月一日付)

権禰宜 高橋 友紀

新任 (三月三十日付)

巫女見習 高橋 美侬

千田 理加子

佐々木みづか

佐藤 千颯

櫻井 香菜子

鹿沼 綾乃

退職 (三月三十一日付)

巫女 渡辺 麻都華

佐藤 紗希

## 防災訓練実施

去る一月二十六日、文化財

防火デーに伴い、当社自衛消  
防隊と塩釜地区消防事務組合

本部、並びに塩竈消防団、当  
社氏子青年会自衛消防隊など、

各関係団体が参加して消防訓  
練が実施されました。

「タバコの火が枯れ草に着  
火し、折からの強風に煽られ

周囲に延焼」という想定のも  
と、初期消火・避難誘導・放

水訓練などに取組みました。



巫女による消火訓練

## 春を込

厳しい冬も終わり、春の足  
音が聞こえてまいりました。  
桜の開花予想が出される中、  
一森山も少しずつ色づき始め  
ています。

新年度を迎え、新しい場所  
でそれぞれの生活が始まる皆  
様のご活躍をお祈りいたしま  
す。(慶)